

こどもホタルンジャー
応募用紙

団体の部 優秀賞

団体名・グループ名

自然観察 やまぼうし

審査委員の評価のポイント

子どもと大人が一緒に参加できる地域の自然観察会を実施し、地元の川の自然や水質調査を継続していることが評価された。特に、子ども達を中心とした子ども観察会では、水生生物調査や水質調査を楽しみながら行っている様子がよくわかり、五感を使った自然とのふれあいがいきいきと感じられる。

活動の場所

大網白里町
小中川 上流へ中流
萱野地区の台地上の田・水路

活動したこどもの人数

20人

活動したこどもの学年

幼稚園児～中学2年生

活動継続年数

7年

主な受賞歴

なし

活動グループ(学校・団体)の紹介、活動頻度

自然観察 やまぼうしは、自分達の住む町をもっと知ろう、自分達をとりまく自然を見つめよう、四季折々に変化する里山・里海の美しい自然を大切にしようと観察会を開いています。子供から大人まで自由に参加出来毎月1回の定例の観察会と季節毎の観察会をそれぞれ自然を見つめようと年に数回開いています。子供達が中心の子供観察会・九十九里浜の海浜植物・ゴアジサシの営巣・アカウミガメの上陸と子亀の誕生・サケの稚魚・谷津田と河川のゲンジボタル・ヘイケボタル・トウキョウサンショウウオ・カエルの産卵・溜池の渚り鳥・ヒガンバナ・ハス・ツリフネソウの開花と季節毎に姿を変える自然を見つめる観察活動を数年続けています。

活動の概要(活動の経緯も含めてご記入ください)

- 子供を主役にした子供観察会。下総台地上の水を集め田畑をうるおしながら市街地へと流れ太平洋にそそぐ小中川の自然と水質を調査して今年で7年が経過しました。
- 毎年6月水環境の全国一斉調査に参加し、小中川の上流から中流の4ヶ所の水質検査により水質の変化を定点観察している。
- 夏休みには「水辺で遊ぼう!」「水はきれいかな?」「水辺に住む生き物を見つけよう!」をキーワードに水生生物による水質調査をしている。又、この水はどこから?川の様子は?水の流れや温度などを調査しました。
- 小中川へ流れ込む台地上の田をうるおす湧水・棚田に飛び交うゲンジボタル・ヘイケボタルの観察と保護・トウキョウサンショウウオの卵・ヒヤマアカガエル・アズマヒキガエルの卵とオタマジャクシの観察会を毎年開催する。
- 里山の水環境と水生生物の観察で子供達を目を通し自然を大切に守っていく活動につなげて行く。

◆この応募用紙は、活動をした子どもたちの保護者や先生等、大人の方が記入してください。

団体名・グループ名

自然観察やまほづし

活動の場所(様子や環境など)

小中川エシ流(引戸橋)

森に囲まれて家がない、戸がない。川の水は、森や木に、
うた雨が土中にたくわえられて少しづつしみだして集まっています。

タイトル

水辺であそぼづ!

「この水はどこから、
水辺にいる生き物を見つけた。
水はきれいかな。」

活動を始めたきっかけ(興味を持ったことなど)

小中川は山の水を集め、滝からおちて、小中池をうるおしています。池から流れて田んぼをうるおして、町の中を流れて、南白亀川に合流して、太平洋に流れています。上流から下流にかけて、いろんな生き物がいると考えられます。ホタル、トウキョウサンショウウオ、トンボ、カエルがいる上流の水の様子を調べることにしました。 5年 北山 紗衣

活動の目標(やってみたいと思ったことなど)

いろんな生物をつかまえて。3年北山 善規
川に入ってみたい。5年坂本晃司
生きものをさわりたい。3年坂本晃司
川の生き物を知りたい。3年山内徳
日本ザリガニをつかまえて。3年山内翔太
川にはどんな生き物がいるか知りたい。3年山内翔太

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト（自由記入シート）

川の水はどこから？

どこへ？



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト(自由記入ノート)

水辺の生き物

岩戸集戦

生物名	18	19	20	21	22	23	24
ヨシノボリ	13	5	18	42	54	15	27
ドジョウ	4	13	24	16	34	14	39
ヘビトロボ	3	11	5	13	5	10	15
サワガニ	2	8	7	9	20	20	19
カワニナ	多	多	多	多	多	11	14
アメリカザリガニ	6	4	5	11	3	4	
ニホンアカガエル	多	多	多	6	多	6	14
アズマヒキガエル	1	1	3	4	1	1	
アメンボ	多	多	多	多	多	多	多
オニヤンマのヤゴ	4	3	3	5	15	7	6
ミミズ	多	多	多	多	多	多	多
ミズスマシ		1					
タイコウチ		4	2	1		1	1
ウスカワマイマイ		多	多	17	多	多	多
クチボソ			1		3		1
ミシシッピーアカミミガメ			3	3		2	
ヒラマキミズマイマイ			1	1			
ナガレトビケラ				2			
マツモムシ				多		1	2
ホトケドジョウ					5	2	3
ミズグモ					1	1	
ゲジゲジ				4	1		多
ハサミムシ					1		
ウレガエルのたまじゃくし					1		
ドンコ						49	32
カタヤマガイ							7
ヒゲナガカワトビケラ							5
マルタニシ							1

カブトムシ、コクワガタ、オニヤンマ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ノシメトンボ、ムギワラトンボ、ナツアカネ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、シジミチョウ、コシアキトンボ、クロアゲハ、クモ、ジムグリ、キチョウ、コガネムシ、ミツバチ、カマキリ、セバカリ、スズメバチ、カメムシ、ゴキムシ、イトトンボ

活動で工夫したこと、困ったこと

- ・活動場所のまわりに草がたくさんはえていた。草刈りをしてもらいました。
- ・まわりにゴミをすてにくる人がいて、大きなゴミがたくさんすてられていておどろきました。
- ・つかまえた生き物は 観察したあと川にかえしてあげました。



五年坂本晃司

活動で気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと

水べのかんさつ 小中川の水と生きものをしらべにいきました。かんさつ体着をしてから、気おんと水のおんどをしらべました。くすりで氷をしらべたら、きれいな水でした。水に入るとすごくつめたくて気持ちよかったです。水のかさは、わたしのひざよりなっと下でした。バケツとあみをもって、生きものをさがしました。石をどけるとサワガニがあらわれました。はさまれそうなのであみでつかまえました。サワガニはにげるのがとても早いので、つかまえるのがたいへんでした。みんなは、いろいろな生きものをつかまえていました。わたしはドジョウとヘビトンボのよう虫とオニヤンマのやごと、アメンボをつかまえました。川からはの上にあがって、みんなで見つけた生きものをしらべました。白くて四角い入れものと川の水をくんできて入れました。その中にしゅるいぐつに、生きものを分けて入れました。カエルがびよこんと入れものからとびだして大さわぎでした。サワガニ・ヘビトンボ・ドンゴ・ドジョウ・ヨシノボリ・トンボのヤゴなどたくさんの生きものがいて、川の水はきれいでした。水べのかんさつ会はとても楽しかったです。二年 岩戸はるな

活動からわかった課題、自分たち「こどもホタルレンジャー」にできること

- 😊 たくさんの種類のいきものがいることが分かった。
- 😊 昨年とくらべて数が増えている
- 😊 指標生物でみるときれいな水であることが分かった
- 😊 ホタルのえさのカワニナがいること
- 😊 トンボのヤゴが川のかおをトンボになること
- ★ 川をきれいにして生物をたいせつに！
- ★ 川をまたごさないようになろう！

大人の人と一緒に、改善していきたいこと

- ・ゴミの不法投棄で川が汚れるので"ゴミを捨てない様"にしてもらうように、看板を作る工夫をしていきたい。
- ・たおれた木を片付けたり、ゴミを拾ったりして、川をきれいにしていきたい。
- ・ホタルの観察会を開きたい。

「地域の水環境調べ・テーマ活動」(テーマを選択して記入※ぜひ、いずれかのテーマ活動に取り組んでみて下さい。)

② 水中の生き物を調べてみよう。

テーマ活動の内容・結果

水質検査で調べたこと

- ・気温
- ・水温
- ・にごり
- ・におい
- ・薬品を使って判定

川の様子

- ・川はば
- ・深さ
- ・流れの速さ
- ・川底の様子 ところどころ



きれいな川で
あることが分かった。

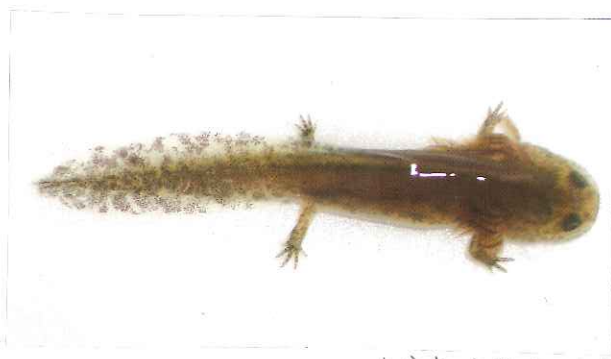
生きものさばし

数…増えている

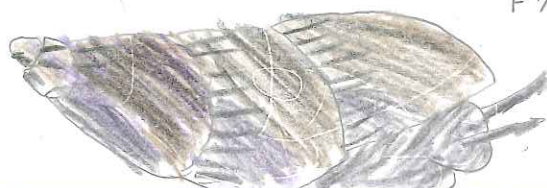
指標生物…きれいな水

テーマ活動からわかったこと・考えたこと

- ・きれいな川にはたくさん生き物がくらしている。
- ・トンボの種類が多い。
- ・ゲンジボタルがとぶ、きれいな川だということが分かった。



トウキョウサンショウウオ



水質調査・水生生物調査(身近な川について) 調査結果のまとめシート
実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

水質調査結果: できたら、季節ごとに何回か実施してみましょう。

学校・グループ名	自然観察やまぼうし		川の名前	小中川
採水月日・時刻	7月23日 (AM) 10時05分 PM		天候	(晴)・曇・雨
現地気温 ℃	現地水温 24℃	試水水温 (測定時) 20℃	前日の天候	(晴)・曇・雨
COD(D) (mgO/L)	原水・測定値 0・1・2・3・(4)・5・6・7・8 以上 (○をつけてください)			

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)		
水質階級 I	1. アミカ類	
	2. ナミウズムシ	
	3. カワゲラ類	
	4. サワガニ	●
	5. ナガレトビケラ類	
	6. ヒラタカゲロウ類	
	7. ブユ類	
	8. ヘビトンボ	●
	9. ヤマトビケラ類	
31. ヨコエビ類 (新指標)		
水質階級 II	10. イシマキガイ	
	11. オオシマトビケラ	
	12. カワナナ類	●
	13. ゲンジボタル	
	14. コオニヤンマ	
	15. コガタシマトビケラ類	
	16. スジエビ (旧指標)	
	17. ヒラタドロムシ類	
	18. ヤマトシジミ	
水質階級 III	19. イソコツブムシ類	
	20. タイコウチ (旧指標)	○
	21. タニシ類	○
	22. ニホンドロソコエビ	
	23. シマイシビル	
	24. ミズカマキリ	
	25. ミズムシ	
水質階級 IV	26. アメリカザリガニ	
	27. エラミズ	
	28. サカマキガイ	
	29. ユスリカ類	
	30. チョウバエ類	
水質階級の判定	水質階級 I II III IV 1. ○印と●印の個数 2 1 2 0 2. ●印の個数 2 1 2 0 3. 合計(1欄+2欄) 40 20 20 0	
この地点の水質階級は Ⅰ です		

調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
調査河川名	小中川
調査地点名	萱野(引ア橋)
昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? ☒ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ☒ I ☐ II ☐ III ☐ IV ☐ ちがう場所で調査した
調査日時	H24年7月23日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
天 気	☒ はれ ☐ くもり ☐ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
水 温	20℃ (小数点1桁まで記入して下さい)
川 幅	約 2.8 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
生物採取場所	☒ 川の中心 ☒ 上流から見て右岸 ☒ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
水 深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
流れのはやさ	☐ 速い(毎秒60cm以上) ☒ 普通(毎秒30~60cm) ☐ 遅い(毎秒30cm以下)
川底の状態	☐ 頭大の石が多い ☐ こぶし大の石が多い ☒ 小石と砂 ☐ コンクリート ☐ 砂と泥 ☐ 泥 ☐ コケ ☐ その他
水のにおい	☒ においは感じられない ☐ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
水のにごり	☒ 透明またはきれい ☐ 少しにごっている ☐ 大変にごっている

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	魚 類
ニホンアカガエル、アメンボ、マツモムシ、ミズスズメ、オニヤンマのヤゴ、カタヤマガイ、ヒゲナガカワトビケラ	ヨシノボリ、ドジョウ、クチボソ、ドンコ
水草類	その他、気づいたこと
カワセミ	昨年のアメリカザリガニ、ミシシッピーアカミミガメがいなくなった。

水辺のすこやかさ調べ 調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

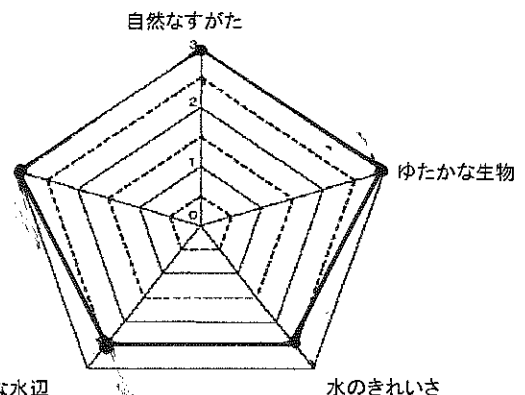
学校・グループ名	自然観察やまぼうし	調査を行った人数	30 人
調査した川の名前	小中川	調査した日	平成24年 7月23日 (月)
調査した川の位置 (区間)	萱野(引戸橋下)	調査を始めた時間 から終わった時間	10 時頃から 12 時頃まで
調査地点の気温	24 ℃	調査地点の水温	20 ℃

調査軸	調査項目	平均	調査軸	調査項目	平均
自然なすがた	流れる水の量	少ない	快適な水辺	景色(感じる)	○
	岸のようす	上手		ごみ(見る)	○
	魚が川をさかのぼれるか	○		水とのふれあい(触る)	○
	総合平均	○		川のかおり(かご)	○
ゆたかな 生きもの	河原と水辺の植物			川の音(聞く)	○
	鳥の生息、すみ場	○		総合平均	○
	魚の生息、すみ場	○	地域との つながり	歴史と文化	○
	川底の様子と底生生物	○		水辺への近づきやすさ	○
	総合平均	○		日常的な利用	×
水のきれいさ	透視度	○		産業活動	×
	水のにおい	なし		環境活動	○
	COD(自由選択)	4		総合平均	○
	総合平均	○			

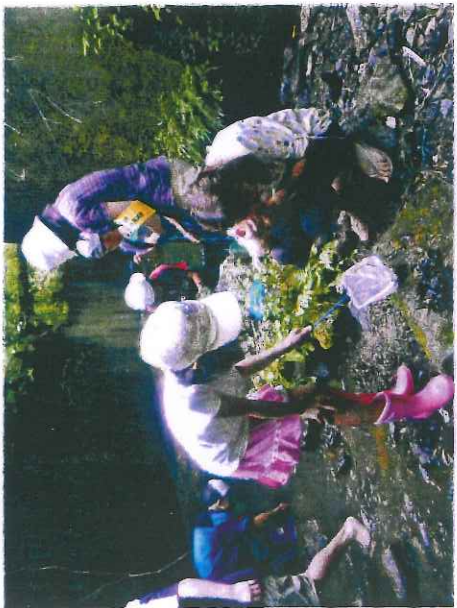
(まとめ)

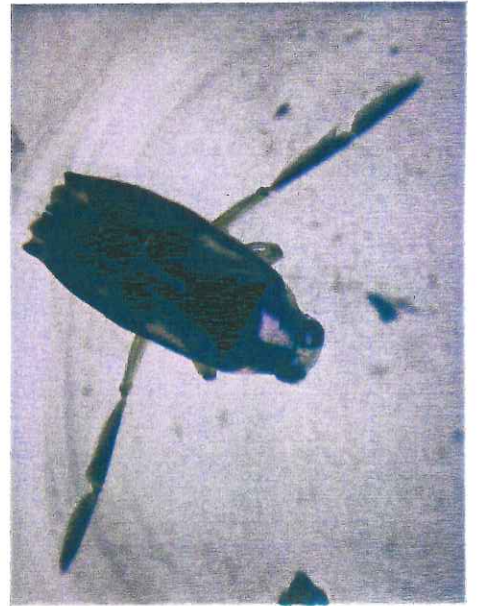
川について気づいたことをまとめてみましょう。また、例えば、下のレーダーチャート図を作成し“水辺のすこやかさ(健やかさ)”を見てみましょう。

小中川の上流部分で住居はなく森に囲まれに
静かな自然豊かな地点なので生物が多い
水がきれいな川であることが分かる。
水辺の調査の前には自然観察の五感体験を
し五感を基に観察している。



水生生物調査





萱野 (引ノ橋)



萱野 (引ノ橋)



みやの野 (3号公園前)



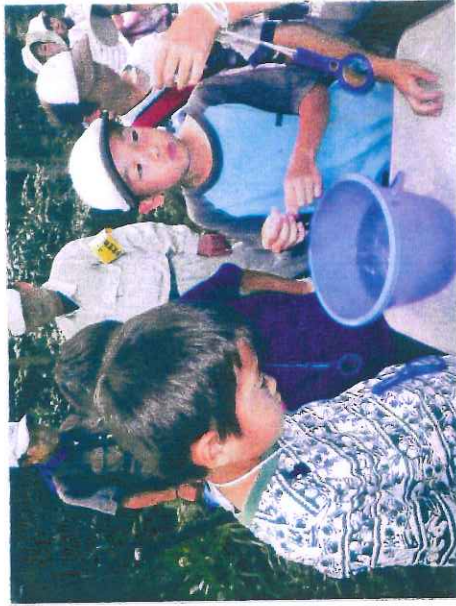
大沼 (金谷川合流点)



小中 (池田橋)



水質調査



CODによる水質検査

